

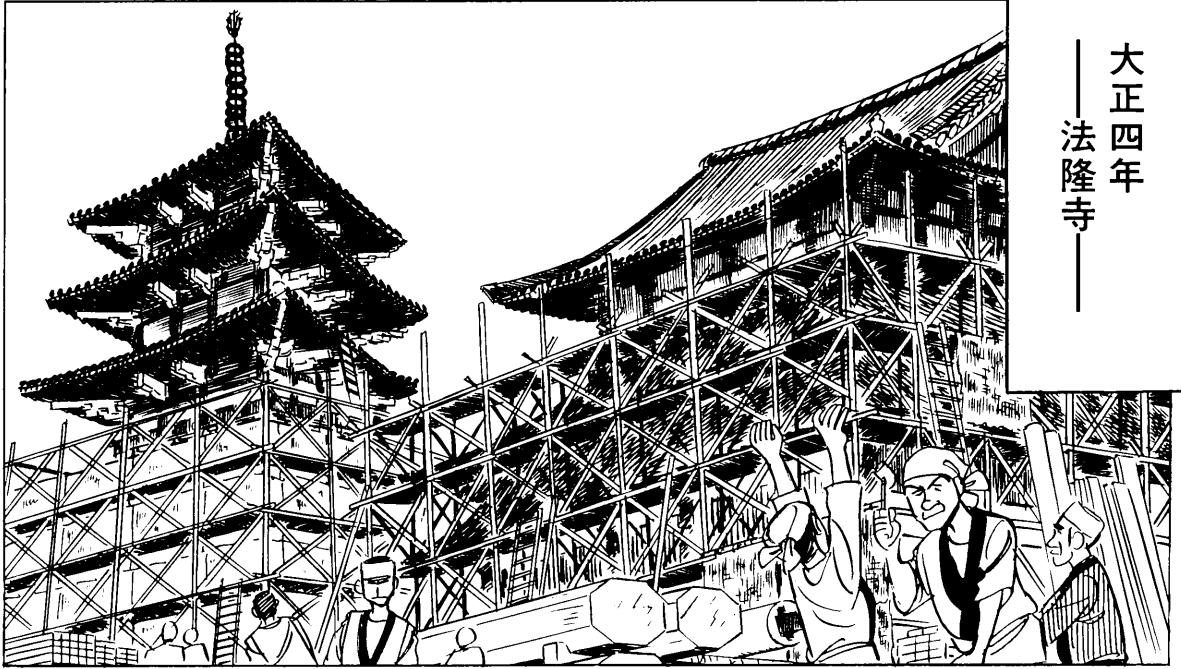
宮大工・西岡常一青春伝

大棟梁



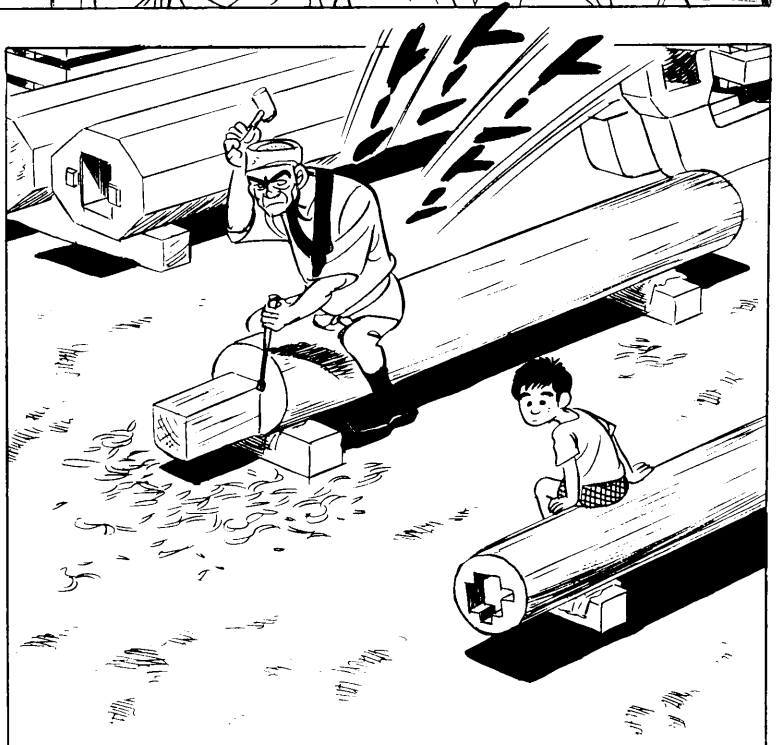
ビッグ錠

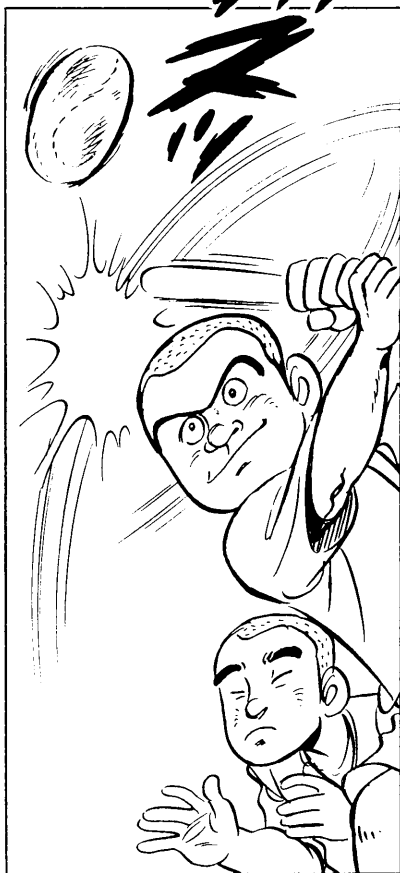
大正四年
— 法隆寺 —

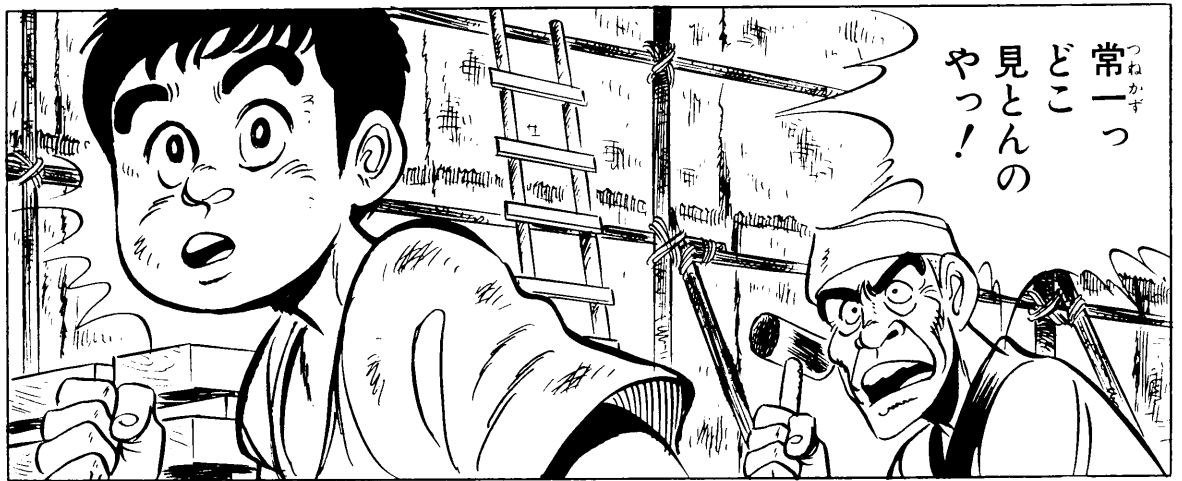
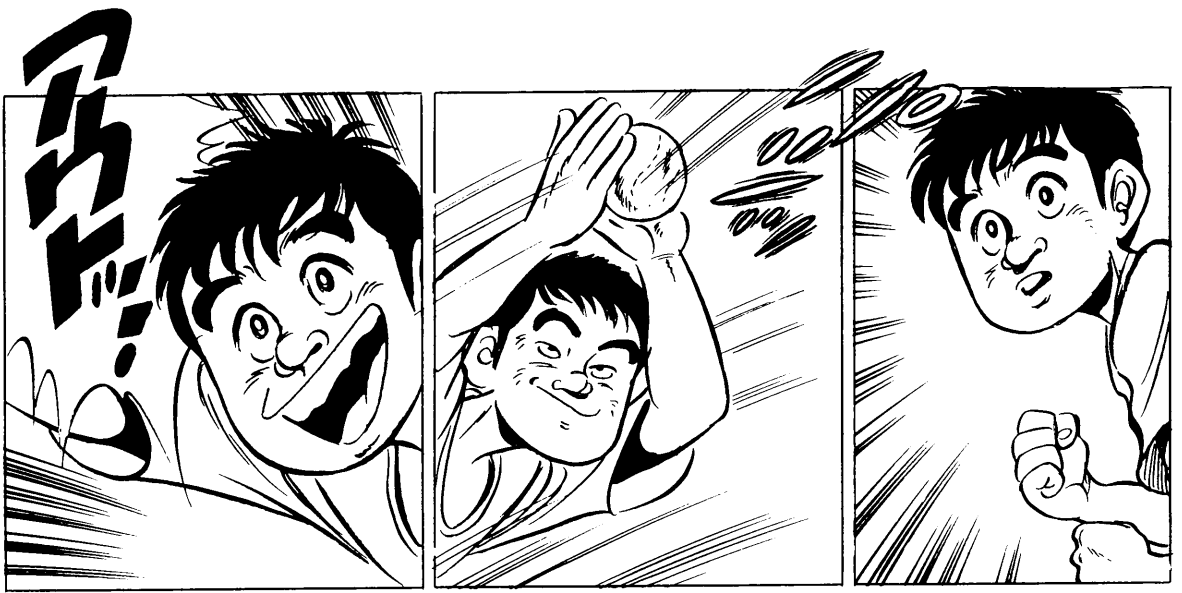


この修理も
ずいぶん
長い間
かかって
ますなあ

なんせ
元禄の
大修理以来
百五十年
ぶりの修理
でっさかいな







かわいそうに
常一ちゃんも
まだあんな
子供やのに
棟梁のそばで
修業させられて

なにしろ
西岡棟梁は
名人気質の
宮大工やからなあ

なんとかして
棟梁の
跡つぎが
ほしいんやろ

そやかて
常一ちゃんの
お父さんの
楢光さんが
いるやないか

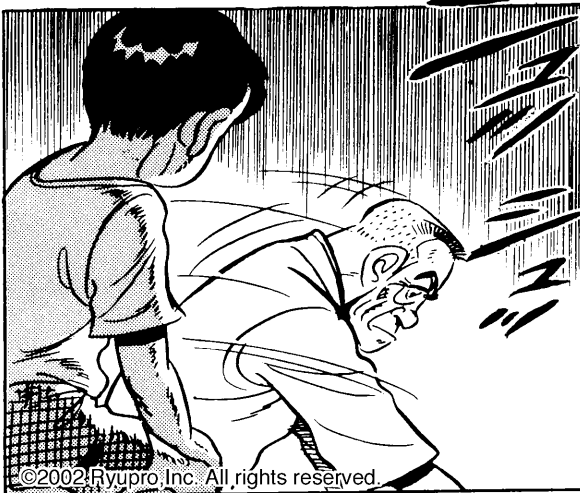
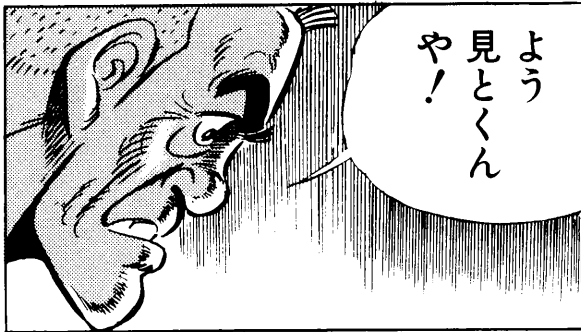
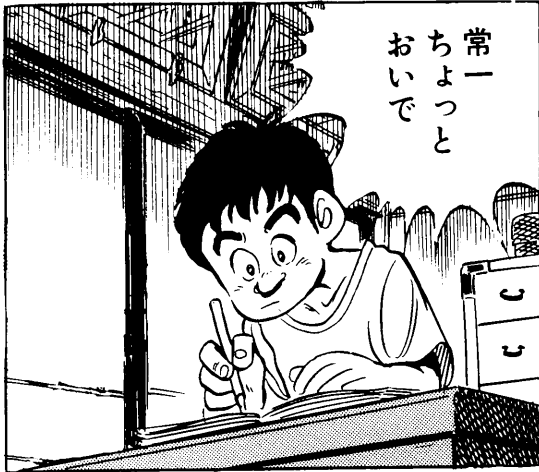
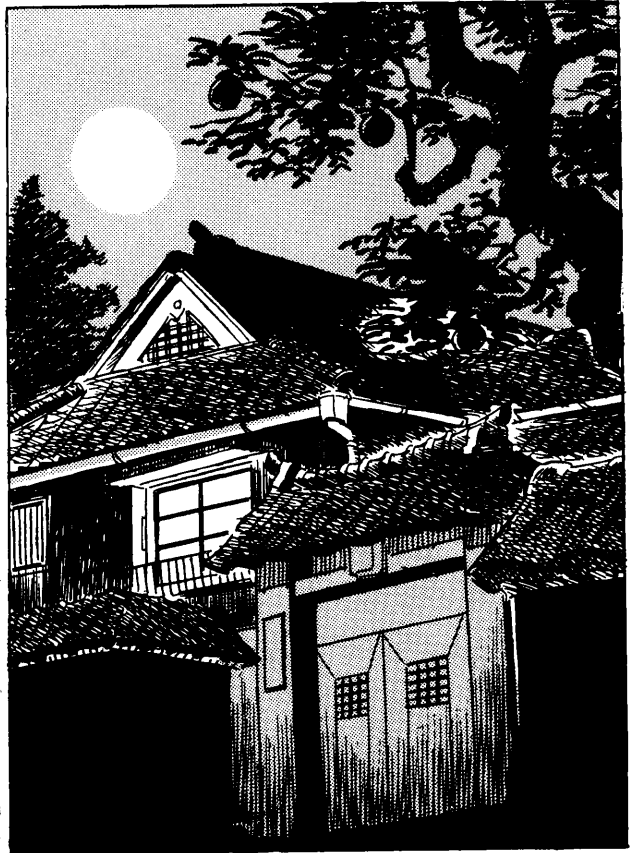
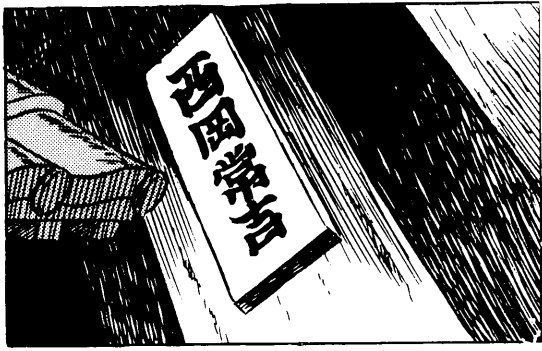
けど
楢光さんは
二十四歳で
棟梁の家へ
婿養子に
来たんやろ

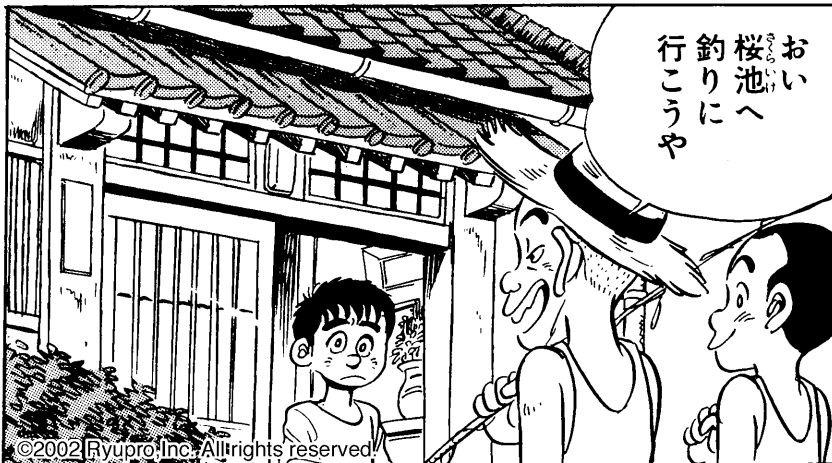
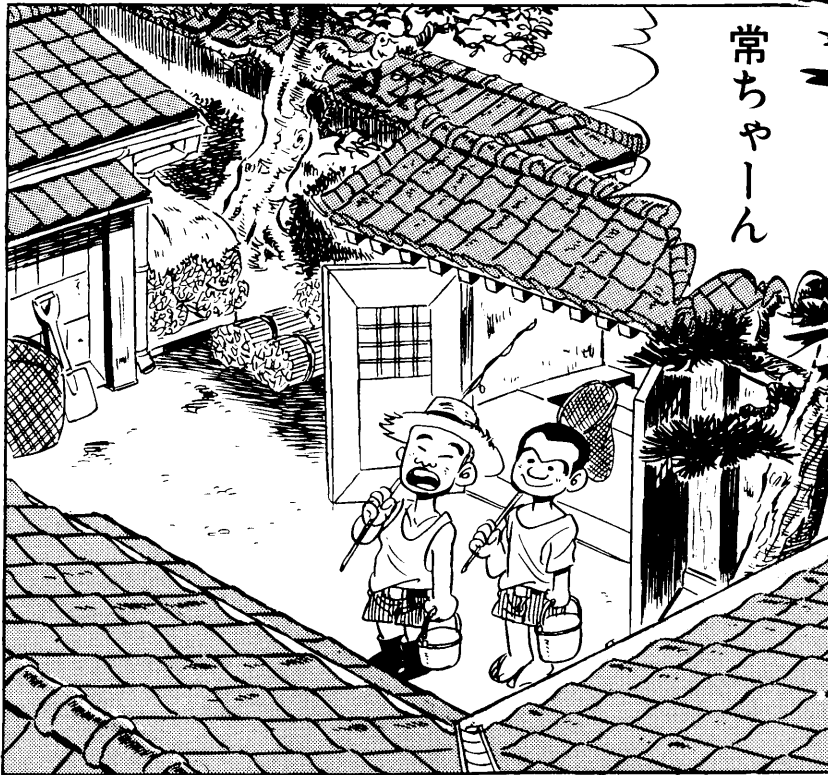
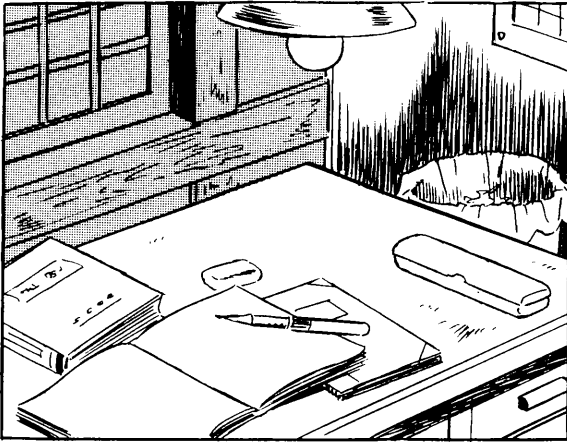
今までカンナも
持たなかった男が
二十四歳から
大工の修業じゃ
大変やがな

そりや
名人気質の
常吉棟梁に
とっちゃ
思い通りに
いかんわのう

そこへ
できた初孫の
常一ちゃんや

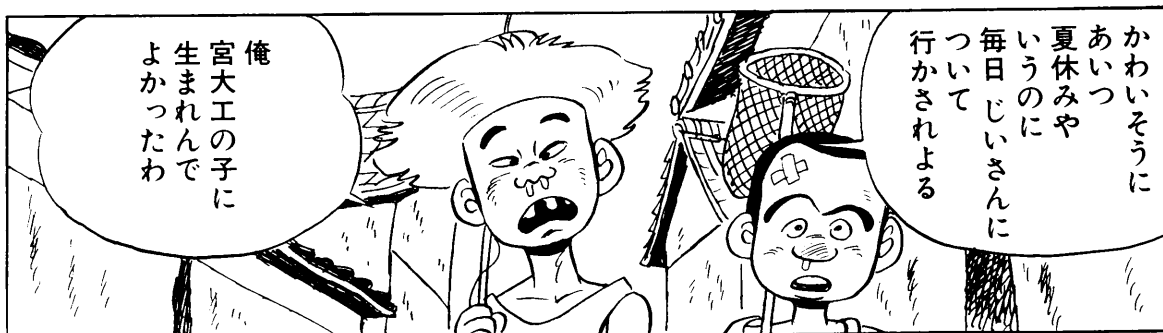
棟梁の
跡とりとして
期待が
大きいなるのは
ムリないわな







常一
行くぞ

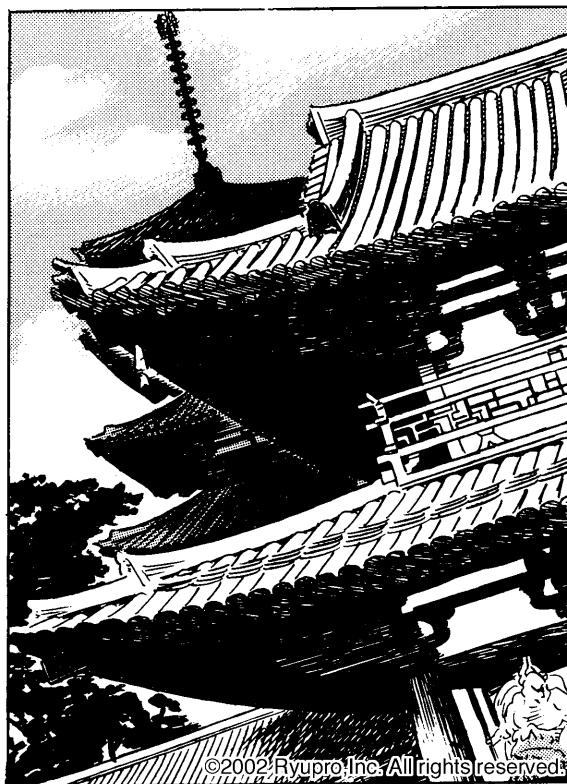


俺
宮大工の子に
生まれんで
よかったわ

かわいそうに
あいつ
夏休みや
いうのに
毎日じいさんに
ついて
行かされよる



ええか
この柱
よう見てみい



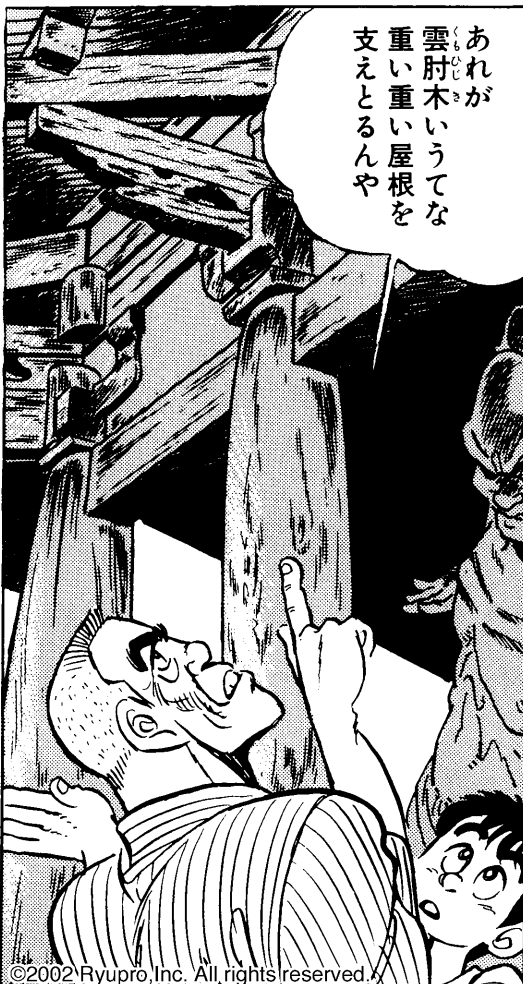


どや
なんともいえん
きれいな柱
しとるやろ

これは
エンタシス
ちゆうてな
中国やギリシヤの
建物にも
同じものが
あるんや



まん中が
きれいに
ふくらんだる
やろ



あれが
雲肘木いうてな
重い重い屋根を
支えとるんや



ここが
法輪寺や
ここの
三重の塔は
立派やで

ここは
元興寺
いうてな
奈良時代には
東大寺の次に
大きい寺
やったんや

あの瓦の
並べ方
きれいやろ

ここが
松尾寺

法華寺や

見てみい
この
屋根は
きれいやろ

あれが
東大寺や

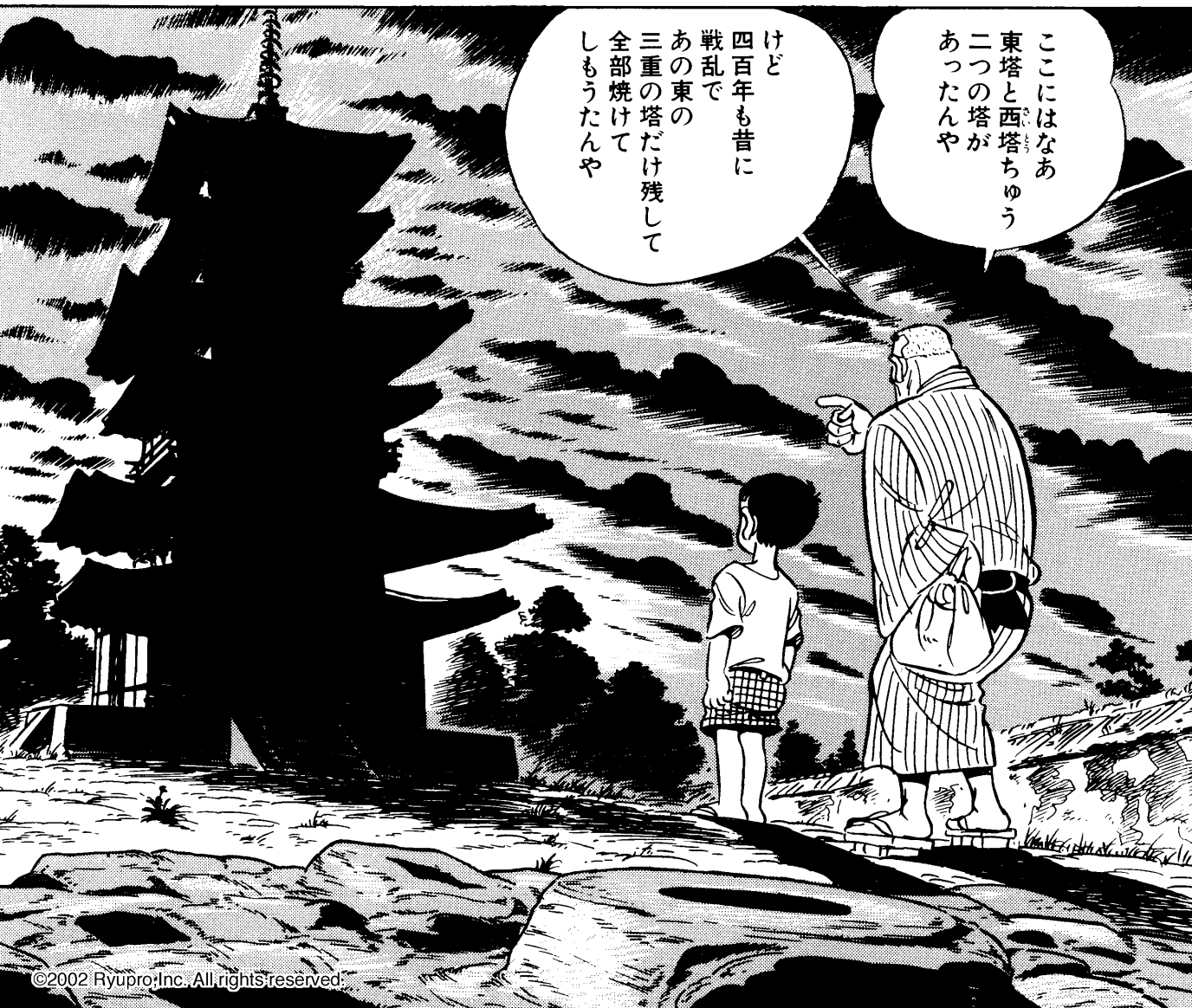
ここは
室生寺



この薬師寺はな
昔は門があつて
まわりにずうーっと
廊下があつて
あそこには金堂が
あつたんや

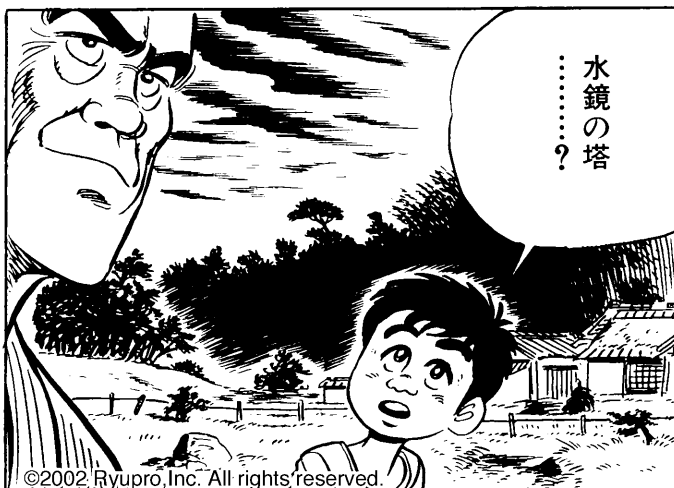



法相宗大本山
薬師寺 南口



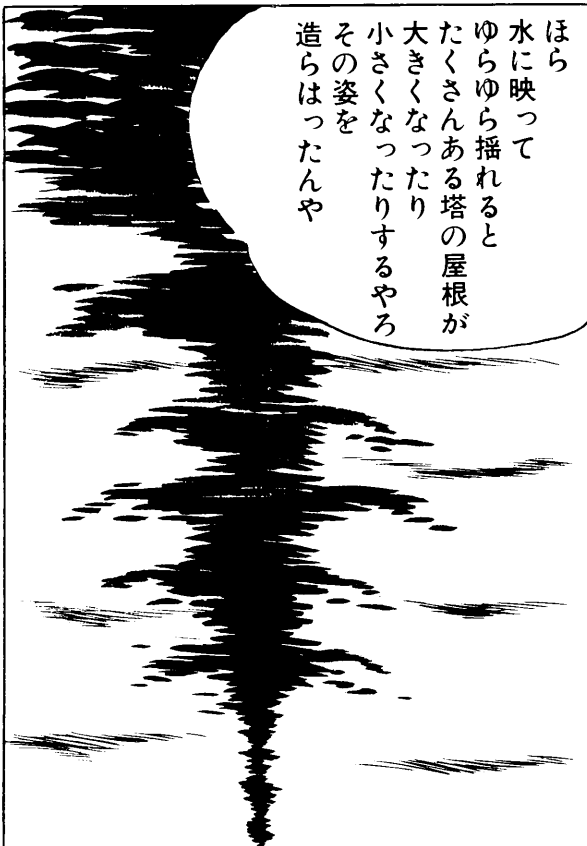
ここにはなあ
東塔と西塔ちゆう
二つの塔が
あつたんや

けど
四百年も昔に
戦乱で
あの東の
三重の塔だけ残して
全部焼けて
しもうたんや

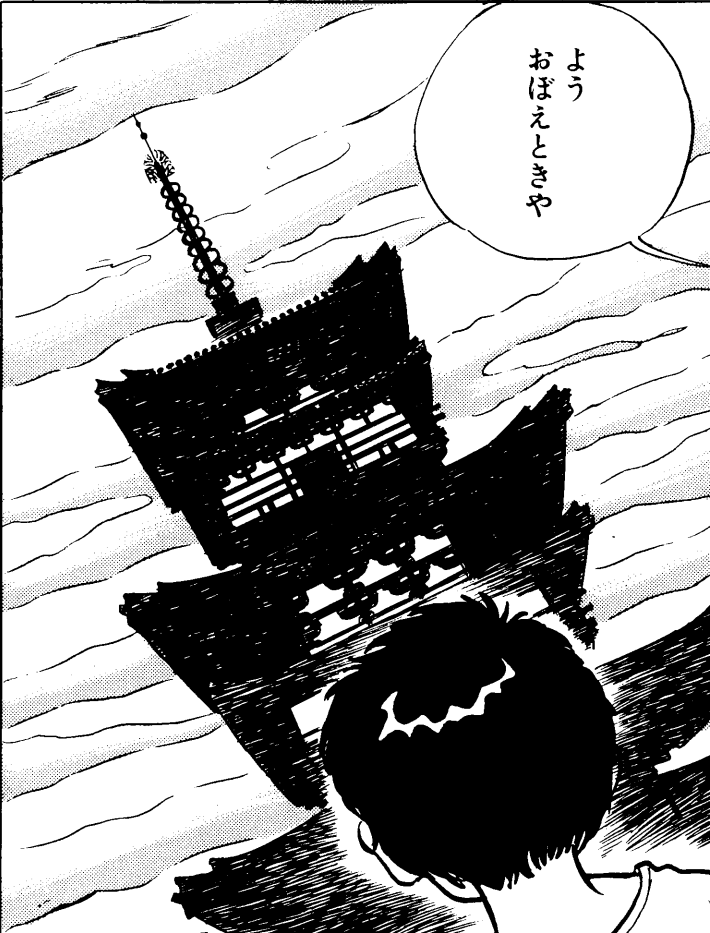





五重の塔がな水に
映って揺れてる姿や…
さざ波でゆらゆら
揺れてる塔を
そのまま ホンマに
造らばったんや



ほら
水に映って
ゆらゆら揺れると
たくさんある塔の屋根が
大きくなったり
小さくなったりするやろ
その姿を
造らばったんや



よう
おぼえときや



水鏡の塔かあ
……………
ほんまに
変わった塔や…